



**シニア
CO-OP
わかやま**

組合員数 4,164名 (2019年3月31日現在)

北東西南 (NEWS)

人生の完成期、輝いて生きる!

発行所 和歌山高齢者生活協同組合
住所 和歌山市里198-1
TEL (073)488-1180

ホームページ [和歌山 高齢協](#)

[検索](#)

**総代会
特別号**

第一〇回通常総代会が開催されます!

六月十五日(土)
の午前10時30分
分から、和歌山市
紀三井寺の和歌山
市南コミュニティ
センターで約一〇
〇名の総代・組合
員さんが集い、高
齢協の活動報告の
確認と、新年度の
方針や予算につい
て、議論し決めて
いきます。

開催時間など詳
細は、総代のみな
さんには、招請状
をお届けします
が、この通信では、
議案の概要につい
て、組合員のみな
さんにお届けし、

みなんで話し合い、確認していきたくと考え
ています。ご参加可能な方は、当日会場まで
お越し下さい。

今年度は、高齢協創立二〇周年として、記
念事業に取り組み、大きな節目として原点に
立ち返り、組合員組織と生協運動の強化を目
指します。

また、団塊の世代が後期高齢者になる二〇
二五年に向けて策定した「二〇二五ビジョン」
の内容を再度確認し、目指すべき方向を確認
していきたくと考えます。

具体的な議案としては、

- 第一号議案 二〇一八年度事業報告承認の件
- 第二号議案 二〇一八年度決算ならびに監査報告承認の件
- 第三号議案 二〇一八年度損失処理案承認の件
- 第四号議案 二〇一九年度事業計画決定の件

第五号議案

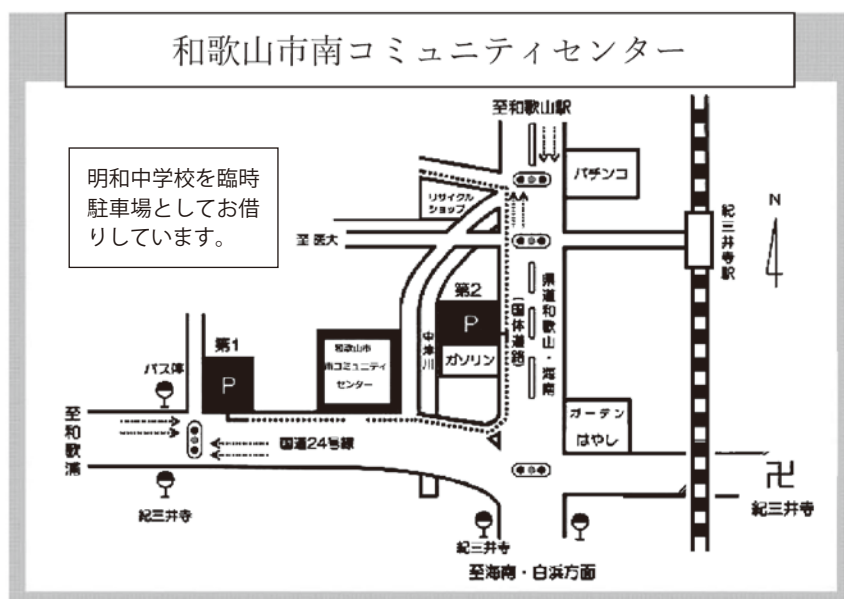
二〇一九年度収支予算決定の件

第六号議案

二〇一九年度役員報酬決定の件

第七号議案

議案決議効力発生
の件
となっており、通常
の総代会の議案構成
となっています。



二〇一八年度のまとめ

二〇一八年度のまとめについて、昨年の総代会で確認していただいた項目に沿って、説明します。

① 事業・経営について

〔1〕 認知症・看取りを地域でささえる

(1) 共生型総合福祉拠点の整備

① 白浜ぬくもりの里が4月にオープンしました。住まいの整備計画と組合員拠点設置の議論は具体化しませんでした。

② 紀中は、障害者施設の建設検討にむけて話し合いを始めています。

③ わかやまエリアの総合化は、まだまだ可能性があり、引き続き経営と質の向上について取り組みます。

(2) ケアの質の向上

全職員研修では実践事例の発表(3本)と、「認知症と共に生きるわたしたち」をテーマに外部講師による講演などをおこないました。

常勤職員(約50名)を対象に、目標面談をおこない、本人の資質向上と事業所のサポート力UPに取り組みました。事業所格差はありますが、外部研修への参加回数は少しずつ増えています。

わかやま訪問介護事業所では、1年かけてオリジナルマニュアル作成に取り組み完成しました。ケアマネ受験対策講座を開催しました。

〔2〕 共生社会実現にむけて

(1) 中途障害・高次脳機能障害の方をささえる

ワークショップとてが5月で2周年をむかえました。とてを卒業し、次なる職場へとすすむ方もいます。70代の高齢者がボランティアで関わっています。助け合いながら、個性を尊重する、和歌山でなくてはならない作業所に育ちつつあります。

(2) 共生型の就労の場づくり

公共交通機関が衰退した地域にあって、高齢者の買物病院付き添い事業をモデル的に行いました。普段、支えられる側が支える側になる、こうした関係づくりが共生社会に必要です。

〔3〕 経営目標の到達

2017年度の1870万円赤字が本年度は、+8万円となりました。日常の経営向上の努力に加えて、赤字克服に役職員が力をあわせて、①役員活動費の停止、②処遇改善相当分の支給見直し、③厨房内製法、④体制不補充などにより支出を抑えました。人員不足の課題には、8職種で賃金UPし、さまざまな工夫を重ねた結果、事業所での効果的な採用・定着が前進し、事業基盤が強くなりました。那賀事業所を6月末で閉鎖しました。

事業所名	主なサービス種類	特徴
和歌山ケアプランセンター	居宅介護	7名体制。特定事業所加算事業所。主任ケアマネ6名。
伊都・橋本ケアプランセンター		1名体制。定年退職により2名減。募集中。
白浜ケアプランセンター		2名体制。2018年に田辺市から白浜町へ移転。
わかやま訪問介護	訪問介護	19年1月より新所長。在籍スタッフ47名。研修強化。
伊都・橋本事業所		常勤5名。障害者ケアに重点をおく。唯一の介護タクシー。
御坊・日高事業所		不利な単独事業所を跳ね返す所長とヘルパーのチーム力。
かみとんだおたっしや館	サ高住(訪問)	要介護度の重い利用者が多い。10年ほぼ満室を達成。
やまぐちおたっしや館	サ高住	4年目。比較的軽度利用者が多い。自前の厨房。
白浜ぬくもりの里	デイサービス	認知症対応に重点をおく。長期継続職員が多い。
れくらん		理学療法士、言語聴覚士によるリハビリ体制に特徴。
ワークショップとて	障害者就労継続支援B型	中途障害・高次脳機能障害に特化したスタイルの作業所。

○事業高目標

4億2767万円 ↓ 実績 4億327万円 (97・3%)

○経常剰余目標

2万円 ↓ 実績 84万円

②組織・運動について

〔1〕共生の地域づくりにもむけ支え合い活動に取り組みました

(1) やまぐちささえ愛センターの活動

(和歌山市里)

体操やサークル活動等により年間利用者が3890名にのびりました。50名もの新規加入がすすみ、大きな活動拠点となっています。活動参加メンバーにより、てとてのボランティア活動や高齢者施設への慰問がはじまりました。「よろず相談窓口」をてとてに設置し、地域の声の受け皿となっています。こうした共生型地域づくりの取り組みが、ラジオ深夜便、ニュース和歌山、Better Care に掲載されました。

(2) にじいろカフェ (認知症カフェ)

認知症の方が安心して暮らせる地域づくり実行委員として、にじいろカフェを6回開催しました。チラシなどをご覧になって、毎回初めての方が来られます。

認知症の啓もうのための「P5伴」に3名が「チームおたっしや倶楽部」で参加しました。

(3) いっぱく亭紀和庵の活動 (和歌山市中之島)

週2回のいっぱいく亭の活動が地域で定着しています。活動参加メンバーが、そろって短編映画「河西橋」に登場し、懐かしい拠点として新聞や、大学の研究に取り上げられる等、静かな注目を集めています。

〔2〕命と暮らしを守る運動への参加

(1) 「平和と人権を守る」

・西日本豪雨災害募金に取り組み、「67、602円」を送金しました。

・宮城県気仙沼、岩手県陸前高田等をめぐる高齢協連合会主催の震災復興支援ツアーに参加しました。
・第32回日本高齢者大会 in 熱海に参加しました。
・浜矩子氏 (同志社大学大学院教授) による講演がわかりやすいと好評でした。
・第26回和歌山県高齢者大会などに参加しました。

(2) 生協の力で地域創生

わかやまNPOセンターの補助金を申請し、「①伊都・橋本地域フォーラム事業」「②白浜地域ファシリテーター事業」を実施しました。

(3) 協同組合学習

①全職員研修で「生協で、働くとはどういうことか」の講演およびディスカッションを開催。②「農業協同組合研究」協同組合に関する理解促進と当法人の経営改善の方法模索のために」の小論文発表、③日本協同組合学会会長の田中夏子氏 (長野県高齢協理事) による「いのちと暮らしを支える協同組合」高齢協の活動・仕事を通して考える」の役員向け勉強会を開催しました。

〔3〕20周年にむかう組織づくり

1月に20周年記念事業準備会を結成、4回のワークショップで役員員の意見を集約しました。「多くの仲間を迎え入れよう」「最も協同組合らしい組織に」「健康長寿 おたがいさまの居場所づくり」「支え愛、ふれ愛、助け愛↓みつめ愛」などの目標をもった、5つの活動系統をつくりました。ムリなく皆の力で頑張ろう！というムードが生まれつつあります。

〔4〕組合員加入・出資金目標の到達

○加入到達目標 4086名 (+200名)
↓実績 4164名 (+78名)
○出資金到達目標 3885万円 (+165万円)
↓実績 3886万 (+1万円)

二〇一八年度 決算について

二〇一八年度の決算について、貸借対照表、損益計算書をご覧ください。税引き後の剰余金を、八七千円計上することができました。昨年四月から事業を開始したぬくもりの里事業開始から二年を経過したワークショップととて等の、新規展開した事業所での業績が好調で、全体を引き上げる格好となりました。

総事業高は、四億三二七万円（前年比97.3%、予算比94.3%）と未達成となっておりますが、経常剰余で八四万円確保することができました。

訪問介護事業では、事業収入が不調（前年比86.9%、予算比83.6%）で、人件費を中心に経費削減に努めました。福祉事業剰余での予算差が▲二、二七一万円となりました。

通所介護事業では、白浜ぬくもりの里事業開始に伴う増収により、予算超過達成となりました。（福祉事業剰余予算差十七〇三万円）

居宅介護支援事業では、体制が整わない事業所もあり、減収減益となりました。

障害者就労継続支援事業では、利用者増と職員体制の補強により、福祉事業剰余で十二一三万円を確保できました。

全体として、経営効率の改善が求められており、総力を挙げて取り組む必要があります。また、職員組織風土を改め、学ぶ文化を定着させ、組合員活動との連携を目指す必要があります。

2018年4月1日～2019年3月31日			
経常損益	福祉事業		
	福祉事業収入		403,270,753
	福祉事業原価		327,066,059
	事業総剰余		76,204,694
	事業経費		
	人件費	34,438,851	
	物件費	42,493,614	76,932,465
	事業剰余金		▲727,771
	事業外収益		
	受取利息	70	
	受取配当金	13,446	
	市民農園	15,000	
	雑収入	5,112,782	5,141,298
	事業外費用		
支払利息	3,555,127		
雑損失	16,126	3,571,253	
経常剰余金		842,274	
税引前当期剰余		842,274	
法人税等		755,000	
当期剰余金		87,274	
前期繰越剰余		▲31,390,900	
当期未処分剰余		▲31,303,626	

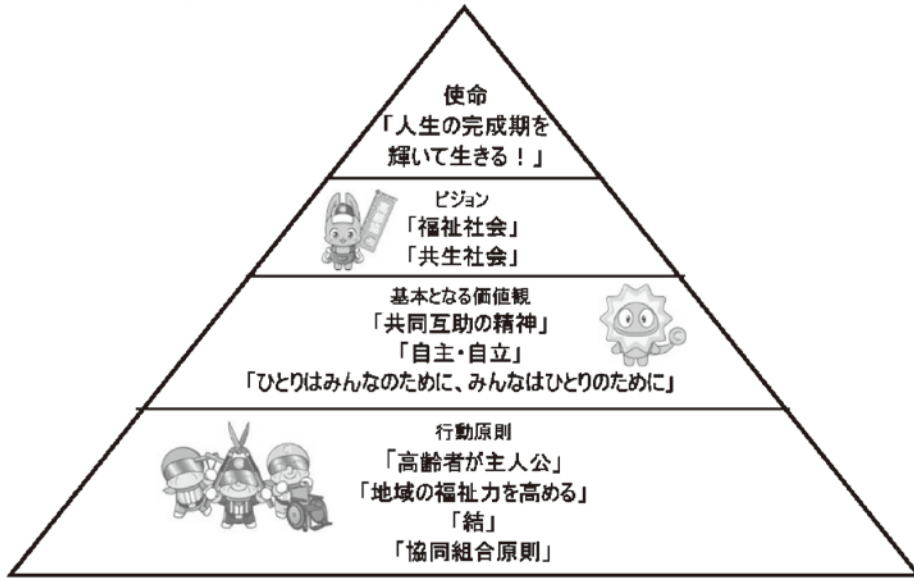


資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	102,805,967	【流動負債】	42,754,102
現金・預金	35,352,001	短期借入金	7,000,000
前払費用	3,570,852	未払金	29,803,294
未収入金	58,781,131	未払費用	894,770
未収金	2,161,134	未払法人税等	755,000
仮払金	477,994	預り金	1,161,143
立替金	2,462,855	仮受金	149,795
【固定資産】	201,569,953	受入敷金	2,760,000
(有形固定資産)	173,323,442	未払消費税	230,100
建物	107,172,824	【固定負債】	254,882,767
建物附属設備	64,724,086	借入金	161,032,767
構築物	15,234,338	組合債権	93,850,000
機械・装置	8,278,864		
車両運搬具	3,424,564	負債合計	297,636,869
工具器具備品	14,079,605		
土地	29,246,043		
減価償却累計額 ▲	68,836,882		
(無形固定資産)	19,482,951		
信地権	19,307,536		
電話加入権	175,415		
(その他固定資産)	8,763,560		
出資金	215,000		
敷金	8,435,000		
預託金	113,560		
【繰延資産】	826,320		
水道加入権	826,320		
資産合計	305,202,240		
		純資産の部	
		【組合員資本】	38,869,000
		出資金	38,858,000
		【欠損金】	▲31,303,626
		当期未処分欠損金	▲31,303,626
		(うち当期剰余金)	87,274
		純資産合計	7,565,374
		負債・純資産合計	305,202,240

二〇一九年度 方針について

二〇一九年度は、二〇二五ビジョンに向けた中期計画の二期二年目に位置づきます。

(1) わたしたちの理念 (使命、ビジョン、基本となる価値観、行動原則)



左上の「わたしたちの理念」に基づき、協同組合原則（一九五五年ICA総会で確認された）を大切にしながら二〇一九年度の計画を考えています。

協同組合原則

- ① 自発的でオープンな組合員制度
- ② 組合員による民主的な運営
- ③ 組合員による財産の形成と管理
- ④ 組合員の自治・自立
- ⑤ 教育・研修と広報活動の促進
- ⑥ 協同組合間の協同
- ⑦ 地域社会への配慮

二〇一九年度は、法人設立二〇周年という節目にあたり、次のキーワードに関する活動を強化していきたいと、考えています。
「物流」「暮らし」「地域」「情報」「記念事業」「地域助け合いネットワーク」。



1 事業・経営の計画

〔1〕 認知症・看取りを地域で支えるために

(1) 共生型総合福祉拠点の整備

既存拠点の充実とまだ整備の手が及んでいない地域での事業展開が急がれます。

- ① 白浜エリア サービス付き高齢者向け住宅と、障害者就労継続支援事業所の整備
- ② 御坊・日高エリア 日高川町での障害者グループホーム、併設作業所の整備
- ③ 伊都・橋本エリア 橋本市での障害者就労継続支援事業所の整備
- ④ 和歌山エリア 整備した5拠点の相乗効果と黒字化。
くわえて、組合員活動拠点を整備し、活動と事業の相互連携を深めます。

(2) ケアの質の向上

認知症への取り組みは、先進地の視察や試験的事業の実施を奨励し、働く職員がやりがいを感じている現場にします。

認知症、看取りについて、変化する時代にあわせて、学習機会を増やします。また、事業

所ごとの「サービス理念」を明文化および見直して、時代にあったものにします。

〔2〕 共生社会実現に向けて

〔1〕 アセスメントから更なるニーズの実現に

利用者の希望、あるいは関わる方の気づきによって、総合福祉拠点ならではないことが生まれています。(サ高住入居者がささえ愛センターの体操教室やカラオケ会に参加・ささえ愛センター活動グループがデイサービス लेकरらんでの演奏会実施など)

〔2〕 共生型の就労の場づくり

「人の役に立ちたい」と多くの方が願っています。ゆるやかな就労、地域のお役にたてる活動、誰かのためになる機会を見つけだし、わずかも報酬が発生する、そうした事例に取り組んでいきます。

〔3〕 きょうされん・わされんへの加盟

障害のある人たちが、あたりまえに働き、自分でえらんだ暮らしを送ることのできる社会の実現をめざし「きょうされん(共同作業所全国連絡会)・わされん(和歌山県共同作業

所連絡会)」に加盟します

〔3〕 経営目標

● 事業高目標

4億1818万円(昨年度比103.7%)

● 剰余目標

225万円

〔2〕 組織・運動の計画

〔1〕 認知症の方が安心して暮らせる地域づくり

新たに白浜町で認知症カフェを開催します。紀の川市打田町でも、月1回のわがらカフェを開催し、認知症予防や居場所づくりに取り組みます。

〔2〕 自分が希望する看取りへと

自分の希望する最期を、「もしものための話し合い」として本人が家族、主治医や、介護者たちと大切にしている価値観を共有することを、折に触れて継続することが大切です。デリケートな死の話題を、思わず会話が弾むカードゲーム形式で行う「もしバナゲーム」を、ケア職員が出向いて、地域の懇談会などで話題提供の機会をつくります。

〔3〕 20周年は、組織強化のビッグチャンス

20周年諸企画を通じて、滞っていた情報

やつながりの流れを良くして、出会いと交流により組織を蘇らせていきたい。多くの方が地域の拠点(紀和庵やささえ愛センター、わがらカフェ)の地域拠点と、ケアセンターおたっしや倶楽部の各事業所、ワークシヨップとして、本部)に足を運んで、気軽に相談していただけるよう工夫をおこないます。

〔4〕 平和と人権を守るために

「平和」「人権」「社会保障」をテーマに、学びを深め、改善に向けて働きかけをおこないます。

【参加する行動】

○第33回日本高齢者大会、第27回和歌山県高齢者大会、各市町村高齢者大会

〔5〕 組合員・出資・組合債権 目標

● 組合員の加入到達目標

4364名 (+200名)

● 出資金の到達目標

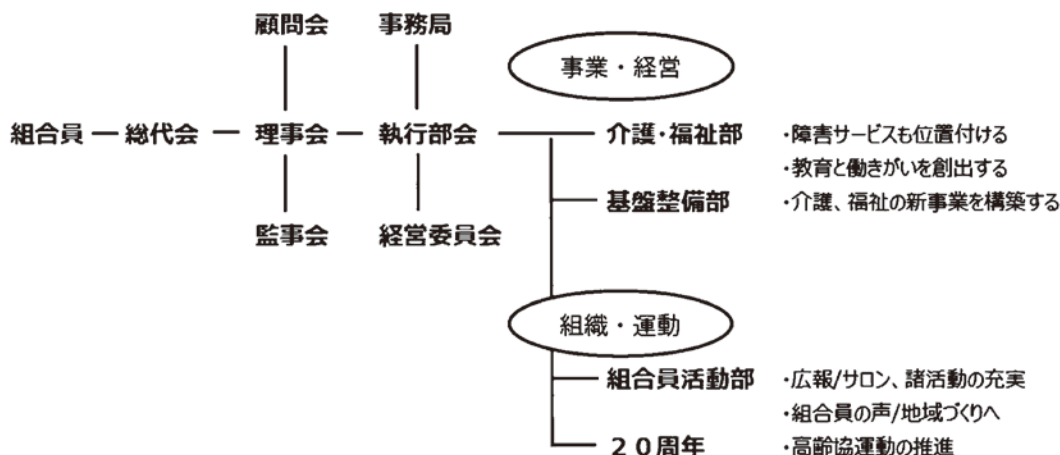
4000万円(+113万円)

● 組合債権の目標

4000万円

(第4次 組合債権運動)

2019年度組織図



3 管理・運営の計画
〔1〕 執行体制

① 経営委員会を新たに設置し、中長期的な視座から、高齢協の継続発展のために必要なこと、「何を」「何に」「どのように」変えるか」を研究議論し理事会に提起します。

② 新たに設置する「一般社団法人和歌山シニアCO-OP」。新規事業の立上げや、組合員増加にむけて二人三脚で取り組みます。

〔2〕 人が育ち・事業が育つ職場づくり

新人事制度の定着にむけて、目標プロセスシートの試行を継続します。処遇改善加算を活用した賃金体系の充実に取り組みます。これまで整備していない新人教育マニュアルや、面接・面談技術の向上を通して、人が育つことをより意識した職場づくりを行います。

3年目となる介護実践事例発表には、さらにきめ細かな現場での実践を取り上げられるよう努めます。

〔3〕 防災意識の向上と対策

介護・福祉部会が中心となり、避難計画と訓練実施で災害時の連絡体制構築と、備蓄整備をおこないます。特に2か所の住宅では、

課題となる電力確保に設備装備の検討を行っていきます。



(単位:千円)

科目	金額	2018実績	前年比
介護保険事業	288,648	281,834	102.4%
障害者総合支援事業	89,420	82,285	108.7%
福祉住宅事業	27,240	27,266	99.9%
委託金収入	10,113	9,571	105.7%
その他	2,760	2,314	119.3%
福祉事業収入	418,181	403,271	103.7%
福祉事業人件費	285,207	275,724	103.4%
福祉事業物件費	53,149	53,437	99.5%
福祉事業原価	338,356	329,161	102.8%
福祉事業剰余金	79,825	74,110	107.7%
事業総剰余金	79,825	74,110	107.7%
役員報酬	9,000	5,579	161.3%
職員給与	13,780	14,662	94.0%
パート給与	1,200	-196	-613.6%
賞与	3,750	3,725	100.7%
退職給付費用	3,770	3,834	98.3%
法定福利費	7,710	6,631	116.3%
福利厚生費	200	204	97.9%
人件費合計	39,410	34,439	114.4%
外注費	250	86	292.0%
旅費交通費	1,900	1,738	109.3%
通信費	1,132	1,600	70.8%
交際費	330	359	92.0%
減価償却費	15,000	15,865	94.5%
リース料	5,480	5,295	103.5%
保険料	1,310	1,431	91.6%
修繕費	0	63	0.0%
水道光熱費	739	430	171.8%
消耗品費	1,212	1,284	94.4%
租税公課	1,141	1,148	99.4%
運賃	438	307	142.7%
会議費	1,050	1,143	91.9%
事務用品費	582	554	105.0%
広告宣伝費	100	343	29.2%
支払手数料	2,696	3,670	73.5%
諸会費	1,366	1,390	98.3%
新聞図書費	240	245	97.9%
研修費採用費	445	394	113.0%
車両運搬費	0	1	0.0%
地代・家賃	3,336	2,387	139.8%
地域支え合い費用	720	228	315.4%
雑費	420	438	95.8%
物件費合計	39,887	40,398	98.7%
事業経費	79,297	74,837	106.0%
事業剰余	528	-727	-72.6%
事業外収益	5,724	5,141	111.3%
事業外費用	4,000	3,571	112.0%
経常剰余金	2,252	843	267.1%

二〇一九年度予算について左表の通りとします。

二〇一九年度予算について

二〇一八年度に比べ、増収増益を目指す。二〇一八年度に比べ、増収増益を目指す。算となつていますが、消費増税や働き方改革による有給休暇付与義務化など、経費増が見込まれる中、達成に向けて全力で取り組みます。

シニアCO-OPわかやまの主な事業所・活動

- ◆本部事務局 ☎073-488-1180 ◆やまぐち ささえ愛センター ☎073-462-0023
- ◆介護・福祉 ケアセンターおたっしや倶楽部
- わかやま訪問介護事業所 ☎073-455-7979 伊都・橋本ケアプランセンター ☎0736-44-2330
- 和歌山ケアプランセンター ☎073-424-5295 御坊・日高事業所 ☎0738-23-0396
- やまぐち おたっしや館 ☎073-462-1055 田辺事業所
- れくらん ☎073-462-5558 かみとんだ おたっしや館 ☎0739-47-0866
- ワークショップととて ☎073-461-6756 白浜ケアプランセンター ☎0739-34-2672
- 伊都・橋本事業所 ☎0736-43-1546 白浜ぬくもりの里 ☎0739-34-2172

- ◆健康・生きがい事業部
- JIAS PC(パソコン)/ハイキング友の会/ほっとけやん倶楽部/送迎事業部/市民農園/どこ竹@わかやま/旅行倶楽部/葬送事業部/いっぶく亭~紀和庵~/御坊おたっしやタイム

- ◆田辺支部 ◆新宮支部

※本部事務局が移転しました。新住所、電話番号は
〒649-6311 和歌山市里198-1 ☎073-488-1180 Fax073-488-1181 やまぐちおたっしや館の北側になります。